

# ■ CAD製図基準アシストT2操作説明書

---

# CAD 製図基準アシスト T2 操作説明書

「CAD 製図基準アシスト T2」は既存図面を CAD 製図基準と比較チェックし、修正します。「CAD 製図基準アシスト(注)」と併用して操作します。4 つの操作方法から成り立っています。

- 1.レイヤ名編集 レイヤ名を修正します。
- 2.レイヤ振り分け CAD 製図基準に従って要素をレイヤ移動し、線種、線色、線幅も変更します。
- 3.図面チェック CAD 製図基準に従って描かれているか調べます。また修正も行います。
- 4.テンプレート編集 「CAD 製図基準アシスト」図面を編集し、オリジナルのアシスト図面を作成します。

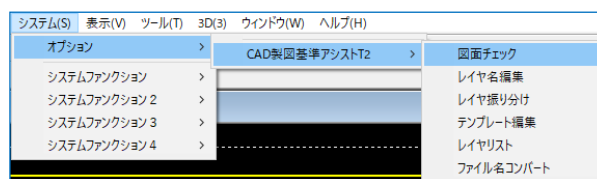
(注)CAD 製図基準アシスト・・・CAD 製図基準に沿ったレイヤ名・線種・線色・線幅が設定されたテンプレート集

## 1 図面チェック

既存図面が CAD 製図基準に従って描かれているかを調べます。また修正も行います。  
アシスト図面を読み込み、そこに記録されている設定と比較した結果を表示します。

### ●コマンドの選択(図面チェック)

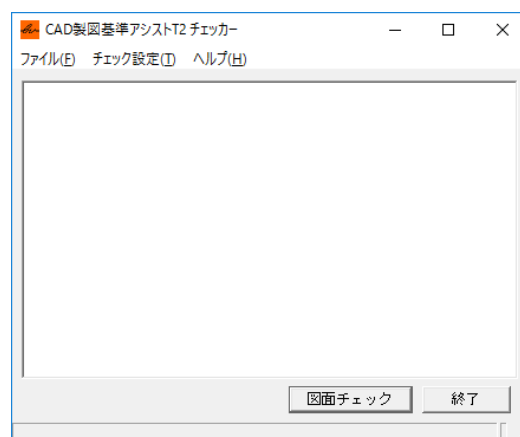
[システム]－「オプション」－「CAD 製図基準アシスト T2」  
－「図面チェック」を選択します。



### ●「図面チェック」が起動します

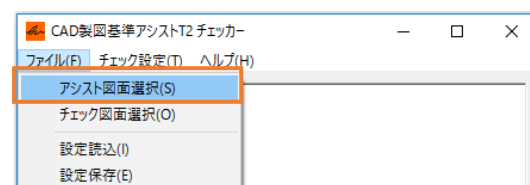
「CAD製図基準図面アシスト T2 チェッカー」ダイアログボックスが表示されます。

「チェック設定」で各種設定ができます。  
(各設定については、CD-ROM の「Readme」フォルダにリファレンスマニュアルがありますので、そちらを参照してください。)



### ●アシスト図面を開きます

[ファイル]－「アシスト図面選択」をクリックすると「アシスト図面選択」ダイアログボックスが表示されます。  
該当のアシスト図面を選択し[OK]をクリックします。

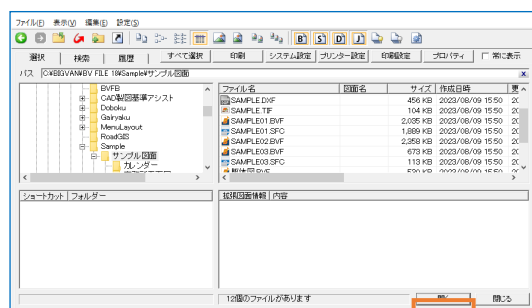
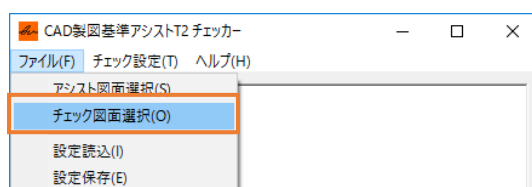
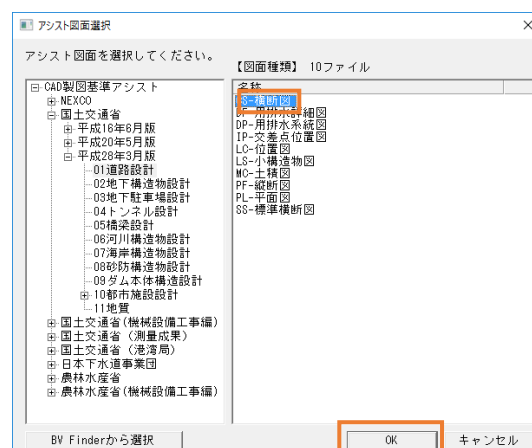


※複数のアシスト図面を選択することもできます。

BV Finder から選択する場合、アシスト図面は通常  
“C:\BIGVAN\BV \*\*\* ¥ CAD 製図基準アシスト”のフ  
ォルダにインストールされます。

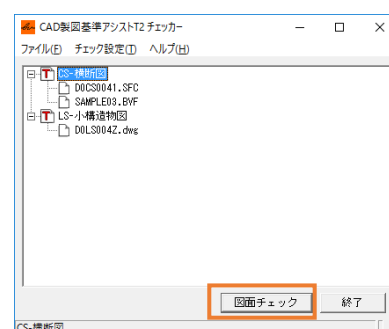
### ●チェック図面を開きます

[ファイル]－「チェック図面選択」をクリックすると BV  
Finder が起動します。チェックする図面を選択し、  
[開く]をクリックします。



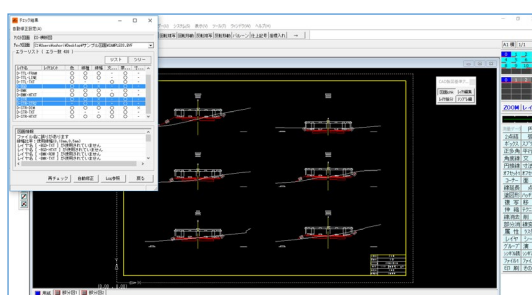
### ●図面データのチェックを開始します

チェックする図面が表示されます。  
[図面チェック]ボタンを押すと、チェックが開始され  
ます。



### ●チェック結果を表示します

青く反転されている行が CAD 製図基準に則してい  
ないデータ(×印)が存在するレイヤです。  
図面情報欄にはファイル名、レイヤ名、図枠等に關  
するチェック結果を表示します。



### ●不適切とされる箇所を確認・修正していきます

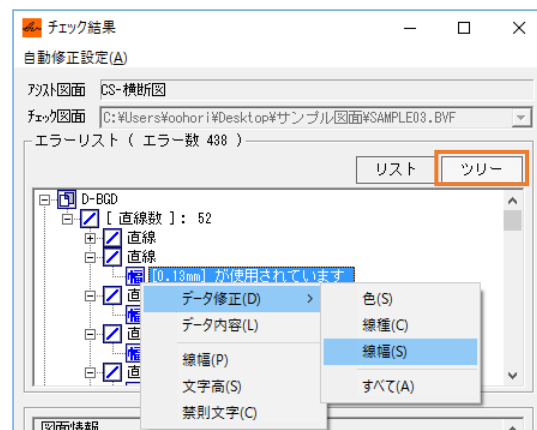
チェック結果の内容を確認しながら図面の修正を行います。

「ツリー」ボタンを押すと個々のエラー箇所がツリー状に表示されます。

問題の箇所を右クリックします。図面が問題の箇所に移動します。

「データ修正」をクリックし、個別に修正します。

「データ内容」をクリックするとそのエラー箇所に関する詳細データを表示します。



### ●一括修正を行います

修正箇所が多いと、前述の修正方法では時間がかかりますが、一括修正なら一度に修正を行うことができます。

「自動修正」をクリックします。

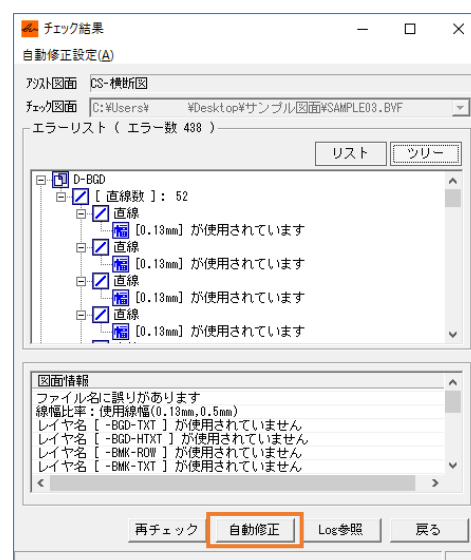
「自動修正設定」ダイアログボックスが表示されます。

各設定を行った後、「OK」をクリックします。

一括修正されます。

(各設定については、リファレンスマニュアルを参照してください)

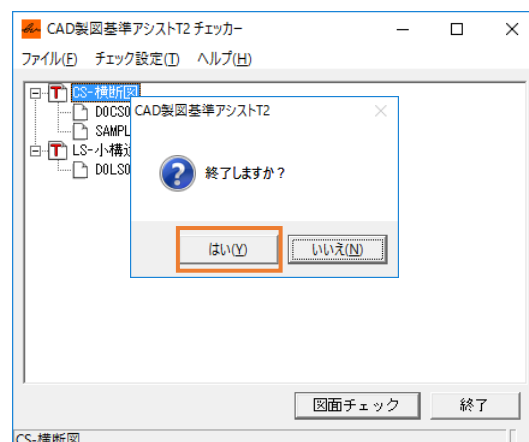
すべて修正されるとは限りませんので(ファイル名の不正等)、残りのエラーについてはアシスト T2 を終了し、CAD 操作に戻って修正を行ってください。



### ●終了します

「戻る」をクリックします。最初の画面に戻ります。

「終了」をクリックします。「はい」を押して終了します。

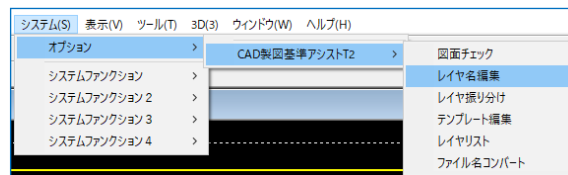


## 2 レイヤ名編集

図面を開いた状態でレイヤ名を修正します。

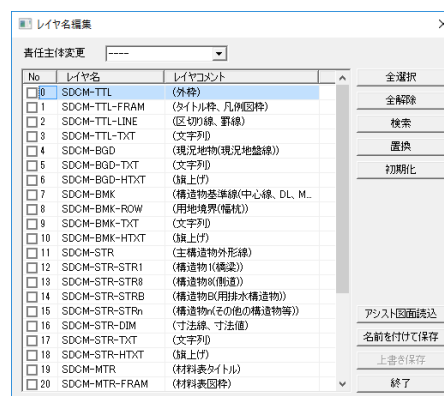
### ●コマンドの選択(レイヤ編集)

[システム]—「オプション」—「CAD 製図基準アシスト T2」  
—「レイヤ名編集」を選択します。



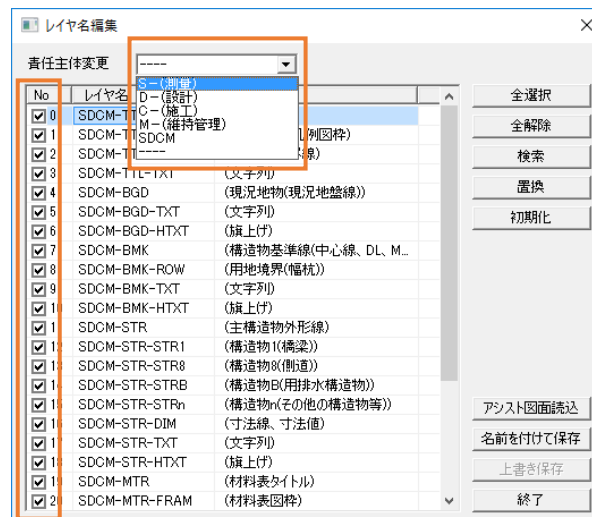
### ●レイヤ名を編集します

「レイヤ名編集」ダイアログボックスが表示されます。  
レイヤ名をダブルクリックするとレイヤ名を編集できます。



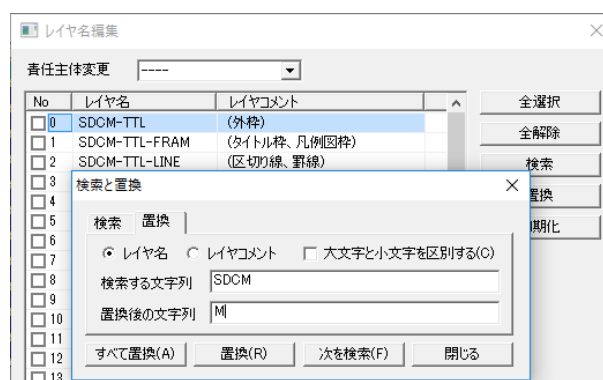
### ●責任主体の変更

責任主体を変更したいレイヤのチェックマークをオンにして、責任主体変更ドロップダウンリストから S、D、C、M いずれかを選択すると、一括で修正を行います。



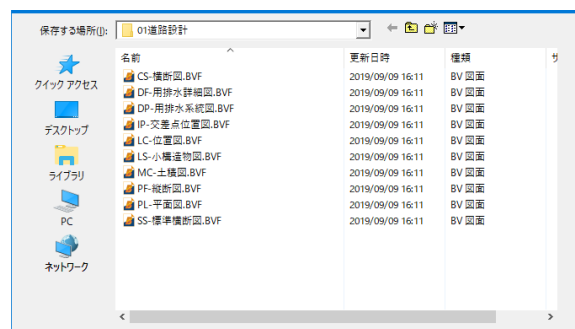
### ●検索と置換

[検索]や[置換]でレイヤ名やレイヤコメントを一括で編集することが可能です。



### ●終了します

[名前を付けて保存]で図面を保存します。  
[終了]をクリックして終了します。

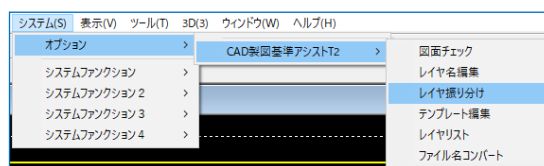


## 3 レイヤ振り分け

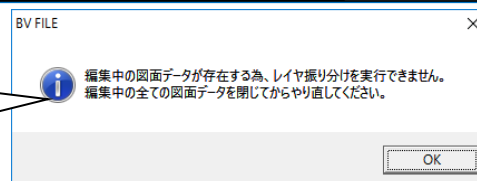
既存図面を CAD 製図基準に従って要素をレイヤ移動し、線種、線色、線幅も変更します。  
「CAD 製図基準アシスト」にあるアシスト図面を読み込み、アシスト図面の設定に従って要素の振り分けを行います。

### ●コマンドの選択(レイヤ振り分け)

[システム]—「オプション」—「CAD 製図基準アシスト T2」  
—「レイヤ振り分け」を選択します。  
すでに図面が読み込まれている場合、メッセージが表示されます。

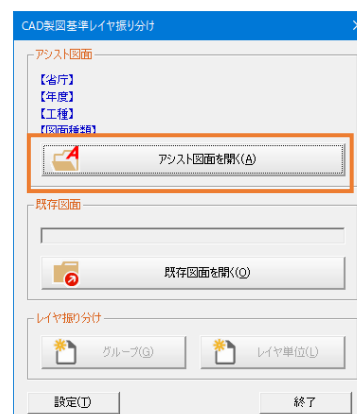


図面が何も開かれていない場合は、  
このメッセージは表示されません。



### ●「レイヤ振分」を起動します

「CAD製図基準レイヤ振り分け」ダイアログボックス  
が表示されます。  
「アシスト図面を開く」ボタンをクリックしてください。

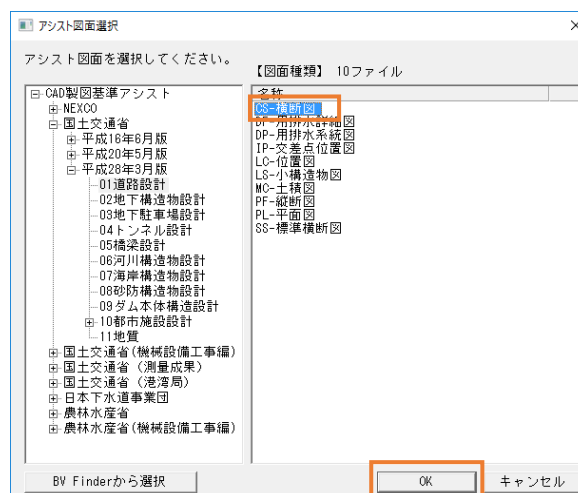


### ●「アシスト図面を開く」にてアシスト図面を選択します

「アシスト図面選択」ダイアログボックスが表示されます。  
該当するアシスト図面を選択し、[OK]をクリックします。

BV Finder から選択する場合、アシスト図面は通常  
“C:\BIGVAN\BV \*\*\* ¥ CAD 製図基準アシスト”以下のフ  
ォルダにインストールされます。

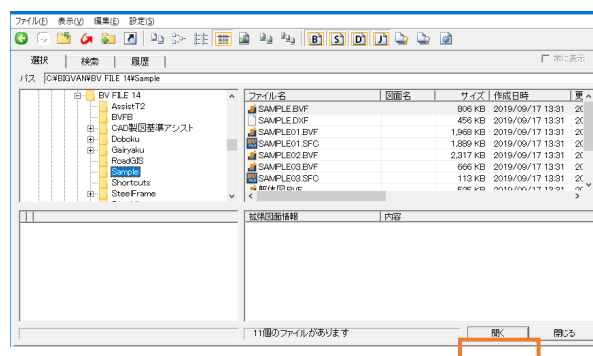
なお、既存図面から開くこともできます。



### ●既存図面を開きます

「既存図面を開く」をクリックします。

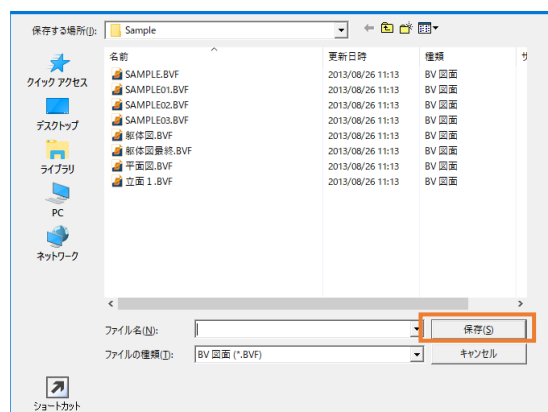
再び BV Finder が起動しますので当該図面を選択して  
「開く」をクリックします。



### ●完成図面を保存します

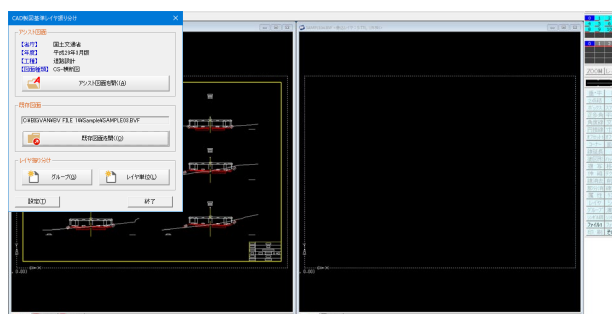
これからレイヤ振り分けされる新規図面に対し、名前を  
付けて保存します。

「ファイル名」を入力して「保存」をクリックします。



### ●画面が左右に並びます

振り分け対象となる既存図面(移動元)が左側に、新規  
図面(移動先)が右側に並びます。



## ●設定を行います

「設定」をクリックし、各種設定を行います。

### \*「ライフサイクルを変更」

レイヤ名のライフサイクルを変更します。

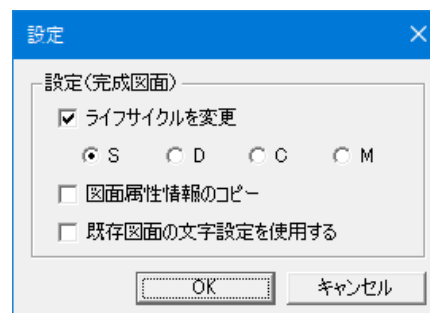
S＝測量、D＝設計、C＝施工、M＝維持管理

### \*「図面属性情報のコピー」

BVF ファイルに記録されている図面属性情報を完成図面にも反映するかどうか設定します。

### \*「既存図面の文字設定を使用する」

BVF ファイルに記録されている文字設定を完成図面にも使用するかどうか設定します。



## ●レイヤ振り分けを行います

「レイヤ振り分け」の「グループ」をクリックすると「レイヤ名選択」ダイアログボックスが表示されます。

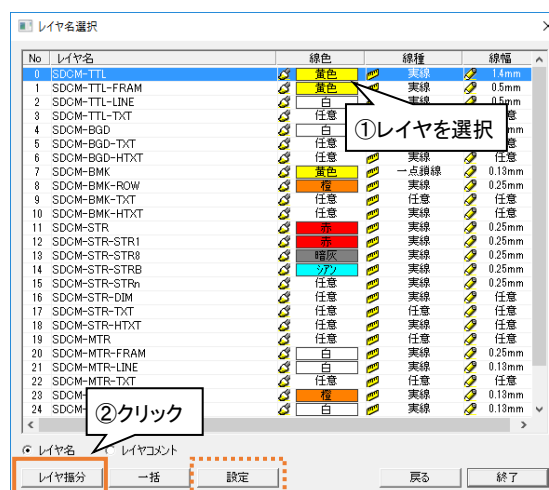
振り分け先のレイヤを選択して「レイヤ振り分け」をクリックします。

「設定」をクリックすると各種設定ができます。

「ペン設定」でチェックを入れた項目がCAD 製図基準に沿った線種、線色、線幅に変更され、新規図面に移動します。

「元図を残す」にチェックを入れると移動変更ではなく複写変更となります。

「文字高補正」にチェックを入れると文字高さを整数値に変更します。



## ●グループ化を行います

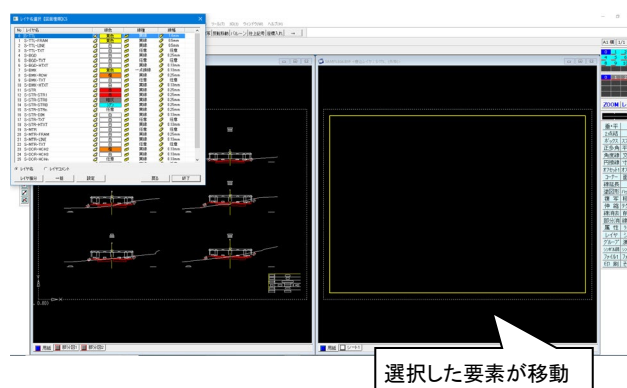
振り分け先のレイヤに必要な既存図面の要素をグループ化します。

グループ化が終了したらサブメニュー欄の「OK」をクリックします。



CAD 製図基準に沿ったレイヤ、線種、線色、線幅に変更し、新規図面に移動します。

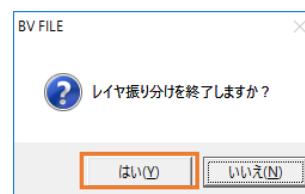
すべての図形に対して同じ操作を繰り返してください。





## ●終了します

「終了」をクリックすると、「レイヤ振り分けを終了しますか？」と聞いてきますので、「はい」をクリックします。  
 続けて「変更を保存しますか？」と聞いてきますので、「はい」を押します。  
 「CAD 製図基準レイヤ振り分け」ダイアログが表示されます。  
 「閉じる」をクリックして終了します。

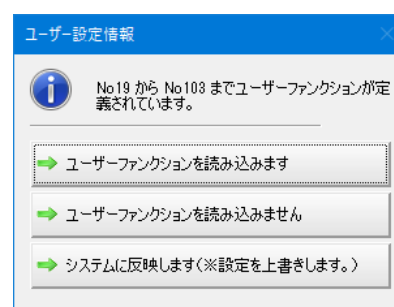


## 4 テンプレート編集

アシスト図面の設定(レイヤ名・線色等)を編集し、オリジナルのアシスト図面が作成できます。  
 受発注者協議事項の反映や各都道府県の CAD 製図基準に対応できます。

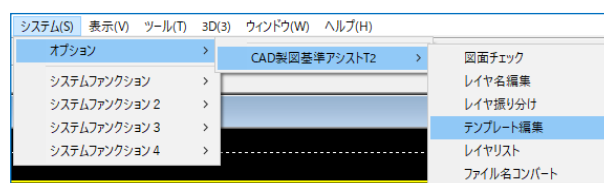
## ●アシスト図面を開きます

[ファイル]-[開く]で編集したいアシスト図面を読み込みます。  
 アシスト図面を読み込むと右図のメッセージが表示されます。ユーザーファンクション設定(レイヤ名・線色等)をどこに反映させるかの画面です。



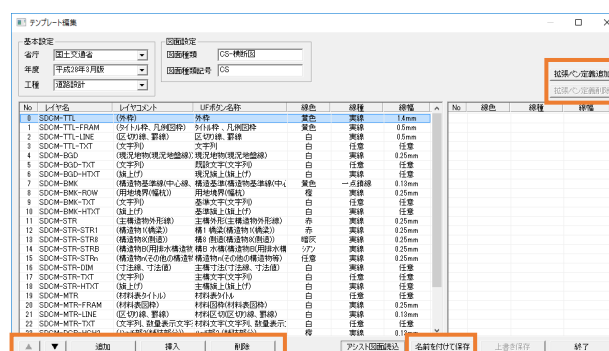
## ●コマンドの選択(テンプレート編集)

[システム]-「オプション」-「CAD 製図基準アシスト T2」-「テンプレート編集」を選択します。



## ●アシスト図面を編集します

「テンプレート編集」ダイアログボックスが表示されます。  
 ここで表示される項目はアシスト図面に設定されている項目です。



各項目をダブルクリックして名称を変更します。  
 線色・線種・線幅は、クリックで表示される一覧から選択します。

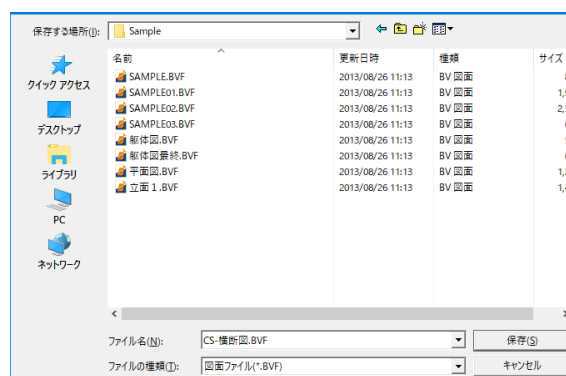
レイヤ順序変更・追加・挿入・削除は下のボタンで行います。

「拡張ペン定義追加」は1つのレイヤに複数の線色・線種・線幅を設定する場合に利用します。

### ●アシスト図面を保存します

[名前を付けて保存]を選択します。  
アシスト図面を別名で保存します。

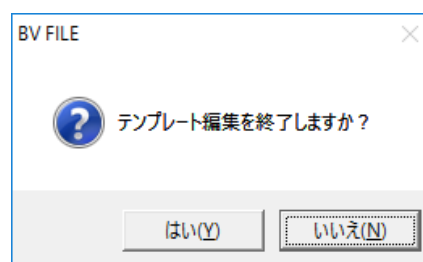
工事によってこの編集したアシスト図面を利用して、レイヤ振り分けや図面チェックを行ってください。



### ●終了します

[終了]を選択します。「はい」をクリックして CAD システム画面に戻ります。編集した設定が図面に反映されます。

「いいえ」をクリックすると「テンプレート編集」ダイアログボックスに戻ります。

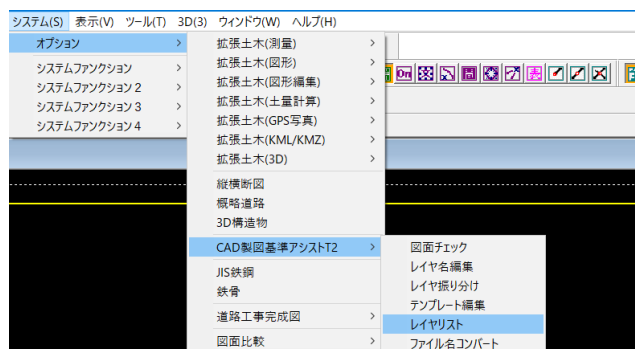


## 5 レイヤリスト

図面上で使用されているレイヤ情報を表編集ダイアログボックス上に取得します。取得したレイヤリスト情報は Excel エクスポートし、保存することもできます。

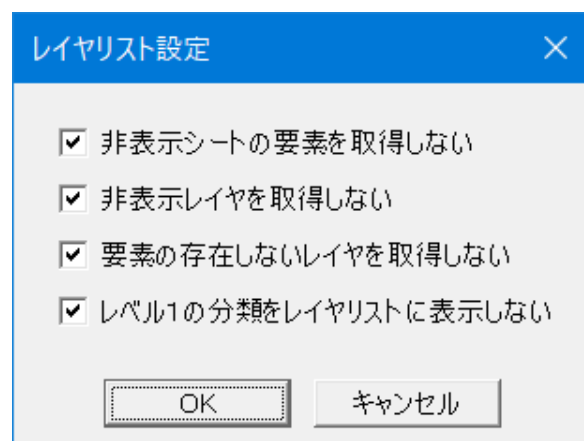
### ●コマンドの選択「レイヤリスト」

[システム]—「オプション」—「CAD 製図基準アシスト T2」—「レイヤリスト」を選択します。



### ●設定を行います

サブメニューの「設定」をクリックし、レイヤリスト設定ダイアログボックスでリストに取得するレイヤの設定と、取得したリスト上にレベル1の分類を表示するかの設定を行います。



## 6 ファイル名コンバート

図面ファイルを一括で電子納品用のファイル名に変更します。

この操作は CAD メインフレーム上に図面ファイルが開いている場合には機能しません。ファイルを閉じてから操作を始めてください。

### ●ファイルを選択します

[ファイル選択]を押下すると BV Finder が起動します。

名称を変更したい図面ファイルを選択して開くを押下すると[変換元]のリストにファイル名が表示されます。

### ●[電子納品ファイル名設定]で変更内容を設定

図面に応じた納品先を[省庁選択]で選択し、工種名、図面種類を設定します。  
ライフサイクル、整理番号、改訂履歴を任意で設定します。

ライフサイクル、整理番号、図面種類、改訂履歴については、変換元の情報を保持することもできます。その場合は各チェックボックスにチェックを入れてください。

SXF では SFC か P21 の各バージョン(圧縮／非圧縮を含む)、BVF ではバージョン(圧縮／非圧縮を含む)からの選択となります。

Microsoft、MS、Windows は米国 Microsoft corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
Windows11/Windows10 米国 Microsoft Corporation の商標です。

その他、商品名は一般に各社の商標および登録商標です。

#### ご注意

- 1) 本ソフトウェアおよびマニュアルの内容を一部またはすべてを複製や改ざんすることを禁止します。
- 2) 製品作成には万全の注意を払っておりますが、内容に関して不備な点や誤りなどがございましたらご連絡ください。  
なお、本製品をご使用になった結果について、いかなる場合も責任を負いかねますのでご了承ください。
- 3) 本ソフトウェアおよびマニュアルの内容に関して、将来予告なく変更することがあります。